



Monthly

ビバイNEWS

2025 8月号

8 August

Topics of the Month

★「500,000人 vs 80人」

こんにちは、ビバイ代表の迫田です。私は7月後半から立て続けに講演会がありました。それぞれ対象は異なりますが、最も印象的だったのは、沖永良部島（以下、エラブ）で高校3年生に向けて行った講演会です。エラブには高校が1つしかなく、塾もありません。現地の高校3年生はおよそ80名ほどで、地元の中학생たちは高校進学時に、島外に出るか残るか悩むそうです。エラブに残った高校生の中には、学習環境が十分ではないことから、全国の受験生との差に不安を感じている子もいました。講演では、「ユニークな人間になろう」というテーマについても話しました。東京や神奈川など、人口の多い都道府県トップ10に住む高校3年生だけで、全国の約半数、50万人が暮らしています。そこで私はエラブの生徒に問いかけました。「500,000人 vs 80人。どちらがユニークだと思う？」と。エラブをはじめ地方には、たくさんの魅力があります。それらを受けとめたくて、「自分とは何者か？」「どう生きていきたいか？」というテーマで話をしました。diversityへの理解が重要視される今、自分の選んだ道に自信を持ち、胸を張って進んでほしい。そんな願いを込めて話しました。

Staff introduction

★ Maritza Hasna Shabirah

<名前> マリザ・ハッスナ・シャビラー (Maritza Hasna Shabirah)

<大学名> 東京外国語大学

<海外歴> カタール18年。保育園から高校卒業までイギリスのカリキュラムのインターナショナルスクールに通い、英語での生活や学習に自然と慣れてきました。

<保有資格> IELTS 8

<コメント> こんにちは、マリザです！私は言語学に興味があり、多言語環境で育ったこともあって、新しい言語を学ぶことはとても価値のある経験だと感じています。言語を学ぶことは時に不安を感じることもありますが、英語を学ぶことが楽しめるレッスンを通して、生徒様の成長に繋がれば嬉しいです。どうぞよろしくお願いたします！



★ Staff diary

長かった夏休みもそろそろ終わり、新学期や新学年が始まりますね。新学期は英語で「new school term」といいます。「えっ、『new semester』じゃないの？」と思った方もいらっしゃるかもしれません。実は、どちらも「新学期」という意味で使えますが、少し違いがあります。「new school term」は、日本のように3学期制を採用している学校で使われる表現です。一方、「new semester」は、欧米の大学などに多い2学期制で使われる言い方なんです。つまり、1年間の学期制度の違いに応じて使い分けられるというわけです。新しい学期・学年のスタート、気持ちを新たに頑張っていきましょう！